

令和4年度 能美市立和気小学校 学校経営具現化に向けた学校評価表

項目	具体的方策	主担当	【評価指標】 〈成果指標〉 〈努力指標〉 〈満足度指標〉	【評価の根拠】 達成度判断基準
1	【ロードマップの活用】 学校力向上ロードマップを活用し、組織的・計画的に運用する。	竹田	【努力指標】 自分の担当分掌について、毎月ロードマップを検証することで、取り組みの見直しが行われている。	【教師アンケート】 「自分の担当分掌について、毎月ロードマップを検証し、適切な取り組みとなるよう見直しを行った」と肯定的に回答する教師の割合が A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満
	【校内支援体制の充実】 不登校等の未然防止のための校内支援体制や教育相談、児童理解の会を充実させ、専門組織との連携に努める。	藤田・室山	【努力指標】 情報交換を密にし、担任や各主任が連携・協働し、諸課題の早期解決・未然防止に努める。	【教師アンケート】 「情報交換を密にするため、校内支援会議を学期に2回設ける」 A：2回できた B：1回できた C：1回もできなかった
	【業務改善】 多忙化改善に向けた取り組みや意識改革を推進すると共に協力・協働による有効な（効率的な）業務遂行を図る。	教頭	【努力指標】 業務の平準化やワークライフバランス意識の向上に努めると共に協力・協働による効率的な業務遂行を図る。	【教師アンケート】 「学校運営において、業務の平準化やワークライフバランスを意識し、業務改善に努めた」と回答する教師の割合が A：90%以上 B：80%以上 C：70%以上 D：70%未満
2	【授業力の向上】 児童が自分の考えをもち、表現できる授業をつくる。	永吉	【成果指標】 児童が自分の考えをもち、表現できる授業をつくることのできている。	【教師アンケート・児童アンケート】 【教師】「児童が自分の考えをもち、それを表現できるように指導している。」と肯定的に回答する教師の割合が A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満 【児童】「授業の中で自分の考えを書いたり話したりして、自分の考えを表現している。」と肯定的に回答する児童の割合が A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満
	【GIGAスクールの推進】 ICTを効果的に活用した授業構想を立て、実践を進める。	永吉・福井	【努力指標】 ICTを効果的に活用した授業構想を立て、実践を進めるように努めている。	【教師アンケート・児童アンケート】 【教師】「1日に2回以上、ICTを使った授業を行っている」と肯定的に回答する教師の割合が A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満 【児童】「1日に2回はクロームブックを使って学習している」と肯定的に回答する児童の割合が A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満
	【学力の向上①】 AIドリルや帯タイムを活用して基礎学力の定着、習熟を図る。	竹田	【成果指標】 単元末テストの平均（知識及び技能）で（低）90点以上（高）85点以上達成した児童の割合が8割以上を目指す。	【各種教育データ】 単元末テスト（知識及び技能）で低学年90点、高学年85点以上達成した児童の割合が、 A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満
	【学力の向上②】 家庭学習の指導と評価を行い、家庭学習の習慣化に努める。	竹田	【成果指標】 家庭学習の指導と評価を行い、学習時間「学年×10分」として習慣化を目指す。	【各種教育データ・教師アンケート】 【教師】「家庭学習の指導や評価の工夫をしている」と肯定的に回答する教師の割合が、 A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満 【児童】家庭学習強化週間で、「学年×10分」学習できた日が5日以上と回答する児童の割合が、 A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満
	【学力の向上③】 読書活動を充実させ、読書の質の向上を図る。	福井	【成果指標】 各学年のおすすめ10冊を1年間で読むことができる。	【教師アンケート・児童アンケート】 「おすすめ10冊」のチェックカードを前期、後期に集め、検証する。（達成率） 前期…50%以上 後期…100%以上達成した児童の割合が、それぞれ A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満

3	豊かな心の育成	<p>【児童会活動の充実】 児童主体の児童会活動を通して、主体的実践的な態度を育成する。</p>	<p>【成果指標】 児童が児童会活動に積極的に参加し、児童会目標を達成しようとしている。(児童会活動とは、各行事、委員会の取組、たてわり活動など)</p>	<p>【教師アンケート・児童アンケート】 【教師アンケート】「児童が主体的に取り組めるように働きかけた。」と肯定的に回答する教師の割合が、 A：85%以上 B：75%以上 C：65%以上 D：65%未満 【児童アンケート】1～4年「児童会活動の取り組みに積極的にさんかできた。」56年「学校をよりよくするために進んで児童会活動に取り組むことができた。」との肯定的な回答する児童の割合が、 A：85%以上 B：75%以上 C：65%以上 D：65%未満</p>
		<p>【ライフスキル教育の推進】 ライフスキル教育の共通実践を通して、児童一人ひとりの自己有用感を向上し、認め合い支え合う学習集団をつくる。</p>	<p>【成果指標】 ライフスキル教育研修で学んだことやセカンドステップ実践を学級経営や特別活動に取り入れることで、児童がお互いの考えや意見を認め合うことができている。</p>	<p>【教師アンケート・児童アンケート】 【教師アンケート】「ライフスキル教育研修で学んだことやセカンドステップ実践を学級経営や特別活動に取り入れている。」と肯定的に回答する教師の割合が A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満 【児童アンケート】低「自分の考えや意見をみんなに聞いてもらっている。」高「自分の考えや意見をみんなに認めてもらっている。」と肯定的に回答する児童の割合が A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満</p>
		<p>【道徳授業の工夫】 道徳の指導法を工夫し、考えを聴き合い伝え合う授業づくりを行い、道徳的実践につなげる。</p>	<p>【満足度指数】 児童が道徳の授業で学んだことを生活に結び付けたり生かしたりしようとしている。</p>	<p>【教師アンケート・児童アンケート】 【教師アンケート】「授業の終末に自分事としてとらえさせる時間をとることができた」とする教師の割合が A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満 【児童アンケート】「おうちのひとと道徳的価値について話合うことができた」と肯定的な回答する児童の割合が A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満</p>
4	健やかな身体の育成	<p>【体力向上の工夫】 体力アップ1校1プランの取組等を推進し、体力の向上を図る。</p>	<p>【成果指標】 50m走の記録を6月に計測し、それよりも10月には平均で1秒縮める。</p>	<p>【各種教育データ】 【体カテスト①②の結果】 該当学年の50m走の記録が6月の計測時よりも10月の記録が平均で1秒縮めることができたのは3学年中、 A：3学年が達成 B：2学年が達成 C：1学年が達成 D：どの学年も未達成</p>
		<p>【生活習慣の確立】 「早寝早起き」の習慣化やメディア利用の約束を行い、基本的な生活習慣を確立することで、心身の健康の保持増進を図る。</p>	<p>【成果指標】 メディア利用の約束を守り、早寝早起きを定着させることにより、心身の健康が保たれていることを実感している。</p>	<p>【生活アンケート・保護者アンケート】 【生活アンケート】メディア利用の約束を守り、早寝早起きができていると回答している児童の割合が A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満 【保護者アンケート】8時間以上の睡眠時間(低：9時間、高：8時間)を週に4日以上とることができた肯定的に回答する保護者の割合が A：90%以上 B：80%以上 C：70%以上 D：70%未満</p>
5	家庭・地域との連携	<p>【ふるさと教育の推進】 ふるさとのことを知り、ふるさと愛を育む、ふるさと教育を推進する。</p>	<p>【努力指標】 地域教材等地域の特色を生かしたふるさと教育の推進に努める。</p>	<p>【教師アンケート・児童アンケート】 【教師アンケート】「地域教材等地域の特色を生かした教育活動の推進に努めた」と回答する教師の割合が A：90%以上 B：80%以上 C：70%以上 D：70%未満 【児童アンケート】「生活科・総合や地域の方との学習は好きですか」と回答する児童の割合が A：90%以上 B：80%以上 C：70%以上 D：70%未満</p>
		<p>【学校運営協議会との連携】 学校支援ボランティアの組織化を進め、教育活動の充実を図る。</p>	<p>【満足度指標】 学校支援ボランティアにより教育活動の充実が図られている。</p>	<p>【教師アンケート】 「学校支援ボランティアにより教育活動の充実が図られている」と回答する教師の割合が A：90%以上 B：80%以上 C：70%以上 D：70%未満</p>
		<p>【あいさつができる子の育成】 気持ちよい挨拶ができる子を育てる。</p>	<p>【努力指標】 児童が相手意識を持って挨拶をしようとしている。</p>	<p>【児童アンケート・保護者アンケート】 【児童アンケート】「学校で「おはようございます、こんにちは、さようならなど」のあいさつを自分からすることができる。」と肯定的に回答する児童の割合が A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満 【保護者アンケート】「子どもは地域や家庭であいさつをしている。」と肯定的に回答する保護者の割合が A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満</p>